

## 2001年: 被害対策

John Gibb が会長として理事会にやって来たとき、彼は当初より組織内で問題があった多くの課題を解決しました。ここに、そのいくつかを紹介します:

1. AUGI の中のある人々は、AUGI のあるプログラムとリソースを管理して来て、まさに何をしていたか、そして、それらの継続には何が必要であるかを知っていました。しかし、もし、その人達の誰かが何らかの理由で重要でないと感じたなら、それは、理事会がその問題を残したままにしておく(実際には組織が残す)事になります。John は A 案が不成立の場合、B 案が必要だとしました。
2. 理事会がオートデスクと顔を突き合わせて会議を行うための旅費は高額になっていましたし、組織の活動レベルは、AUGI が遅れをとらずに進むことができる速度よりも速く成長していました。今や AUGI には完全な予算管理がありましたので、メンバーの関心に応じて資金を割り当てることや、理事会資金のさらなる節約を開始する事、そして最も重要な、理事会メンバーのコミュニケーション手段としてコストのかからない代替を見つける事は、当然でありました。これは毎月のグループ電話ミーティングが本当になくなった年でありました。
3. 新しい理事達が彼らの義務や責任が何であるかの見解を持っていることは稀であり、まして彼らに何が出来るか、そして、何が必要経費で落とせないか、AUGI の仕事に必要な旅費や休暇に期待をしないなどと言った事についてはなおさらでした。理事であるためのマニュアルが全く存在しませんでしたし、会員が本当に彼らがボランティアに値するかどうかを知る手段としてまとめられるのが当然でした。

John には組織について別の関心事がありましたが、それらは彼にとって非常に優先度の高いものでした。そして、一年を通して彼は組織のためにその関心事が有効に運ぶよう何とか成し遂げました。特に新人の為のリーダーシップ基準は、おおいに意味のあるものでした。

私は、避けて通れない AUGI にとっての修羅場の期間をどの会長も切り抜けると考えます。問題点は年によって変わりますが、ある意味、会長は炎の下に置かれ、そして、組織はそれを切り抜けて生き延びるこれらの人々の人格によって常に利益を享受します。この年 John の最大の危機は頼り無いプロバイダーサービスと組織のウェブサイトの信頼性とオンライン・リソースを悩ませた技術でした。ニュースレターの 1 万 9000 部のコピーを 1 人のメンバーのアドレスに送ると言った不安定なメール・リストでウェブサイトを完全にクラッシュさせました。指導者達は、彼らがほとんど管理し切れなかったこの事件に対して会員からかなり重い批判を受けました。多くの新しいプロバイダーを十分に試し、長い間プロバイダーの技術サポートスタッフをかき混ぜた後の晩秋に最終的に安定しました。

このカオスのいくつかは、メンバーシップにおいてオンラインの利便性(操作の単純な動力不要)の要求が驚くほど増加している事にも起因しました。そして、またいくつかは、プロバイダースタッフの完全な無能力のためでした。私達は、John とこの年の理事会に大いに感謝し、心に刻みます。(そして私達は、私達の状況を理解せしめてくれた会員に感謝します。)私達はまた、何度も繰り返し問題解決に失敗してはプロバイダーのドアを叩いてく

れたウェブマスターの **Stephen Cotton** と、そして、私達が自分自身のモードでこのサイトが力強いデータ駆動型マシンとして快速に動くような完成度に変更してくれた **Scott McFarlane** におおいに感謝します。

労働力の観点ではオートデスクは **AUGI** に少しのサポートしか提供していませんでしたので、**AUGI** は動きの悪さに気が付きました。オートデスクとの予算契約についての私達の合意の一つは、以前はオートデスク内部でなされていた職務をカバーするために **AUGI** がマネージャーを雇用するべきだという事でした。いくつかのこれらの職責は、組織の成功への鍵であり、**AUGI** 理事会の部屋、会議設備、旅行、食事等の調整の為になされる裏舞台の仕事を含んでいました。他の職責は、**AUGI** 内のプロジェクトや個人とオートデスク内部のプロジェクトや個人とのコンタクト情報のコーディネートと維持が含まれていました。このために、**AUGI** は **Logistic Liaison** (事業計画 連絡係) のポジションを作りました。

また別の大きなプロジェクトは、私達の継続した成長とウェブサイトの維持に関するものでした。誰かが例えば発展する私達のウェブサイトの維持についての全ての局面に精通しなくてもよいのではなく、組織としての **AUGI** に精通する必要があったのです。**AUGI** がこの年また、ウェブマネージャーと契約する事ができたのは大きな喜びでありました。

連続して2年目、**AUGI** はラスベガスで年次総会を開催しました。イベントは、ショッキングな9.11事件のたった2ヵ月後で、次の数字があなたの心を圧倒するかもしれません。私はイベント中のある夜ホテルの設備マネージャーと衝撃の9.11がヴェガスの **MGM Grand** や一般のカンファレンスに起きたことを聞きました。(私は妻とともに7年間ヴェガスに住んだことがあり、80年代中ごろからカンファレンス企業で働いていました。) 多くの人は、その都市経済の1/3以上をカンファレンスが作り出している事を知りません。その時期に計画されていたカンファレンスの2/3以上が航空機の危険性という理由からキャンセルされ、残りの1/3も60%以上の参加者のキャンセルがあった事を彼は私に話してくれました。

さて、驚くべき事実があります。私達のイベントである **Autodesk University** と **AUGI** 年次総会は(ユーザ・ベース カンファレンスはユーザ負担そのもので)キャンセルを受けなかったばかりか、その出席者数は実に前年度の15%増に昇りました。ヴェガスがかつて体験したことのない最大規模の観光危機の最中、私達は、組織の歴史の中で最も盛況な年次総会を開催しました。そして説明しきれない出席者数についてのマネージャーのコメントは、「私は、ソフトウェアのユーザがソフトウェアのカンファレンスにこのように打ち込むとは知りませんでした。私達は昨年あなた達が深刻であったのを知っていましたが、何もできませんでした。・・・」

ダース・ベーダーの言葉で、『何より、素晴らしい』

成功は疑いも無く、前年度のイベント(**AU** と **AUGI** は再び軌道に乗って、2年前からの散々な4つの場所での**AU** イベントを経てより強くなった事でユーザ コミュニティの中で、その言葉はあつという間に広まりました)の成功に大きく起因しました。メンバーシップ会費が無料になった結果として参加者の中での **AUGI** メンバーの規模の増大とヴェガスが私達のイベントにとってずっと最も経済的に受け入れ可能な開催地である事実でした。私は、オートデスクの **VPs** が、もしもこのイベント継続の必要性に疑問を持ったとき、この話(ユーザの大多数が、信

じがたい旅行のリスクと経済的危機の下、このイベントに出席する価値を既に見出していた事)を決して忘れてないで欲しいと心から願います。

2002 年の理事会のために、以下のメンバーが選出されました:

会長: **Yoshi Honda** / Pacific CADD Services, Inc.

副会長: **John Clauson** / Indak Mfg. Corp.

副会長: **John Gibb** / CFI

書記: **Marv Muston** / Turner Associates

理事: **David Kingsley** / CAD TV Corp.

理事: **Peter Jamtgaard** / Cordeck Sales, Inc.

理事: **Bob Diaz** / Community College of Southern Nevada

理事: **Elise Moss** / Moss Designs

理事: **Keith Siville** / Consultant

理事: **Beth Garrison** / CAD Fuel Design

任命により就任

会計: **Donnia Tabor-Hanson** / **MossCreek Designs**